

'93ラリーアート賞 "ドライバー・オブ・ザ・イヤー"

ラリー部門

ダートトライアル部門

奴田原文雄、宝田芳浩。CMSC札幌の両選手が受賞！



奴田原文雄 '93全日本ラリー選手権Bクラス
シリーズチャンピオン獲得



宝田芳浩 '93全日本ダートトライアル選手権AIVクラス
シリーズチャンピオン獲得



来シーズンはCクラスへ

'93全日本ラリー選手権Bクラス
シリーズ
チャンピオン
CMSC札幌
奴田原文雄

'93全日本ラリーシリーズは、チームイズが撤退したこともあり、Bクラスのシリーズチャンピオンを獲得することは、今シーズンの目標でした。

まず、開幕戦のDCCSウィンターラリーを優勝し、さいさきの良いスタートを切ることができました。TRCAウィンターラリーは準優勝でしたが、続く第3戦ACKスプリングラリーでは、MIVECエンジン搭載の新型ミラージュのデビュー戦、優勝を飾ることができました。第4戦のラリースピリット広島でも予定通りの展開で勝て、ミラージュMIVECのラリーにおけるポテンシャルをアピールでき、又シリーズポイントも一歩リードする形となりました。前半でポイントをかせいだ安心感か、第6、7、8戦と2位に甘んじてしまいましたが、第9戦モントレイで優勝でき最終戦を待たずしてシリーズ優勝を決めることができました。

今年は本当に充実したシーズンでした。この場をお借りして、スポンサー各位様、ならびに関係者各位方々へお礼を申し上げます。私のラリー活動に多大なるご理解、ご援助をありがとうございました。来シーズンは、ぜひCクラスへステップアップし、ランサーでシリーズを戦えればと考えています。

写真上 全日本ラリーBクラスシリーズチャンピオンの奴田原選手の走り。写真下 全日本ダートラAIVクラスシリーズチャンピオンの宝田選手の走り。写真右上 ダートラ部門表彰の宝田選手（左）、ラリー部門表彰の藤本吉郎選手（中）、奴田原選手（右）



The Fastest を守りたい

'93全日本ダートラAIVクラス
シリーズチャンピオン CMSC札幌 宝田芳浩

11月13日、広島で開催されたオールスターダートトライアルを最後に、今年のすべての競技が終了しました。

今シーズンから乗り換えたランサーエボリューションは、ギャランに比べると動きが俊敏で抜群のトラクションをもつマシン。確実に昨年よりはポテンシャルが高く、実戦前から好成績を狙えることを確信していました。しかし、AIVクラスは同じランサーを駆る榎田選手、北村選手、荒井選手、そしてラ

イバルのインプレッサを駆る山下選手等、強力なライバルが顔を揃え、一戦として気を抜くことが許されない激戦区。前半では好調が続いたものの、後半ではなかなか有効ポイントを得ることができず苦しい展開となりましたが、ついに念願のチャンピオンになることができました。これもひとえに皆さんの支援があったからと感謝しております。来シーズンもまた、誰よりも速いドライバーとしてチャンピオンを死守したいと思います。

会員の皆様の よりいっそうのご活躍を

あけましておめでとうございます。

CMSCが発足して既に30年余。その間、モータースポーツを愛する者達の集まりとして順調に発展し続けて参りました。既に、全国に17支部700余名のメンバーを擁する大組織となったいま、会員の皆様には、今後もCMSC会員であるというプライドを大切にさせていただきたいと願うと同時に、これまで

会の発展をずっと支え続けて下さいましたことを、いまさらながら厚く感謝致したいと存じます。

さて、会員の方々にとって、昨年はどう的一年でしたでしょうか。年頭にあたりまして、皆様それぞれに昨年を振り返って感じる事、新しい年に対する期待や希望など、様々な思いがおりだと想像致します。わがCMSCにとりましては、'93年はなかなか充実した一年であったのではないのでしょうか。夏の全国大会には、全国から総勢約230名が集まり、恒例のジムカーナや懇親パーティなどを通じ

て互いに交流を深めました。また、全日本チャンピオンを2人も輩出する等各種競技会等ではクラブ員の活躍ぶり、と、上位入賞の嬉しい知らせが続々と聞こえてきました。各支部の主催大会は、年々盛大になってきていますし、着実にモータースポーツの普及に貢献し続けていると考えております。

最後になりましたが、会員の皆様がさらにいっそうご活躍されることを、あらためてお祈り申し上げます。今年もどうぞよろしくお願い致します。

(CMSC会長 外川一雄)

CMSC栃木

10月24日

'93スリーダイヤモンドトライアル

前日に雷まじりの雨が降りコースコンディションが心配されましたが競技会当日は朝からさわやかに晴れあがり、コースはややウェットな状態ながらダートトライアルには絶好のコンディションになりました。

今回のダートトライアルは、当クラブとしては1989年以来4年ぶりの開催となります。前回の日光スピードパークでのダートトライアルの反省を踏まえ、コースは丸和オートランド那須でぜひ開催したいとのクラブの意向で、昨年の3月に予約を入れて以来準備に時間をかけてきました。しかし、参加台数は65台と少し寂しいものとなってしまいました。

競技は通称Aコースと呼ばれているもので、1周

表彰式にひと工夫

約2kmのコースを時計回りで周回する設定で行われました。時間にして約1分35秒前後で走行するものです。当初の予定では慣熟歩行はCDクラスのみ行う予定でしたが、参加台数が少ないために全競技車で行うことにしました。

今回は表彰式を今までとは違った方法で行うことにしました。まず、各クラスの上位入賞者にはトロフィーとメダルのみを授与して、副賞のほうは総合成績のタイム順に1品ずつ自分で選んでいただくという方法です。この方法ですと、上位の方には賞品が少なくなりますが、普段は指をくわえて見ている下位の方にも必ず賞品が手渡されることとなります。今回のこの方法は好評だったようで、いつもは表彰式まで参加せずに帰ってしまう方も今回に限っては最後まで参加されたようでした。ローカルイベントにしかできない試みだと思いますが、今後もなんらかの形でこの方法を取り入れていきたいと思えます。



三菱賞1位の笹原選手の走り、三菱賞1位笹原選手、2位相馬選手、3位牧選手(左より)



(CMSC栃木 町田 俊英)

CMSC山形

9月12日

CMSC山形テクニカルジムカーナ

9月12日、スラローム第1種、東北シリーズ第9戦CMSC山形テクニカルジムカーナを蔵王リゾートサーキットにて開催しました。当クラブも、B地区戦3年目を迎え、より充実したイベントにしようと頑張ってきました。そのかいあってか、今年は失敗も無く最後まで順調に進み、閉会を迎えました。

競技会内容は、台数は昨年とほとんど変わらず、97台とやや淋しい大会となりましたが三菱車が若干増え、マイベックミラーージュが6台、ランサーエボ

充実したイベントを目指し成功!

リュージョンが3台で、各車上位入賞いたしました。特にランサーは昨年まではMR2の独壇場のクラスでしたが、2位と5位に入り、CMSCとしても大変うれしく思いました。

今年は前日に山形三菱自動車主催のドライビングスクールも行い、講師として三菱自動車の木全巖氏を迎え、50名ほどの一般ドライバーのジムカーナ走行の講評もしていただきました。また、木全氏には当クラブのジムカーナにもゲストとして参加して頂き、実況中継もお願いしました。誠に有難うございました。また、オフィシャルの皆さんも2日間におたり、大変ご苦勞様でした。

(CMSC山形 菅野 茂)



CMSC帯広

10月17日

秋の大運動会トライアル

今年も競技後のジンギスカンパーティーを楽しみに集まった?トライアラー達で、楽しい1日を過ごす事が出来ました。競技の方はジムカーナ顔負けのパイロン区間を設けた為、特にAIVクラスのドライバー達は「腕が棒」になっていたようです。

恒例トライアル&ジンギスカン

結果はAIIIクラスで唯一三菱車で参加の安田忍ミラーージュマイベックが見事逆転優勝/AIVクラスは新日三菱車の戦いとなりましたが、腕の差が出たのかランサー1.8、ランサーEV、ギャラン240PSという順位で競技を終了しました。

(CMSC帯広 青沼 達也)

